

# あさひ

松江の玄関

「ようこそ松江へ」「いってらっしゃい」「おかえりなさい」…  
緑結びの地高根のガイドブックを片手に、あたりを見廻している旅行者。

駅弁やかみやげを選んで、また都会に旅立っていく若者たち。

都会から父母に慕い顔を見せに帰ってくる親子連れ。

JR松江駅の改札口には、今日も暖かい笑顔と迎えと見送りの言葉がこぼまっていますね。

そうです、朝日地区は松江の玄関なのです。

あさひまち歩き…はじめに

現在では周辺にはホテル、保険や証券会社のビルが立ち並び、朝はゆっくりと改札口を出て駅前のバス乗り場に向かい、職場に向かう人々があふれ、夜には伊勢宮の繁華街に人々が集り松江で最もにぎやかな朝日地区ですが、古文書にも登場することも少なく、明治時代の後半まで沼地と田畑だったところだそうです。

そう言われてみると確かにこの地域は、遺跡や昔からの神社、仏閣も少ないですね。1908年(明治41年)11月8日に日本国有鉄道松江駅の開業とともに松江の新しい玄関として大きく発展していききました。

隠岐からの汽船も、この朝日地区の伊勢宮から発着していた時代もあります。それまで海上輸送中心だった時代が、鉄道が人と物資を運ぶ時代へと変わり、やがて自動車全盛の時代に移っていても、朝日地区は今も松江市の玄関としての機能を果たし続けています。

朝日地区に生活する私たちは、このふるさとを心から誇りに思っています。その魅力を次の世代に、そしてここを訪れる多くの方々に伝えたいと思いました。このまち歩きマップは、そんな思いが詰まった私たち朝日の皆の手作りによるものなのです。

さあ、まち歩きマップを手にとった皆さん、これから一緒にJR松江駅を起点としてこのまちを歩いてみましょう。急ぎ足でなくゆっくりと。ここで育った地域の皆さんがいくつかのコースをご案内します。松江駅の開業から100年の短い歴史の中で、このまちがそして私たちの愛するふるさと松江がどのように変わっていったのかを発見してみませんか。

## 松江の玄関 あさひ

JR松江駅から歩いて15分!



- ①松江城 松江しんじ湖温泉行きバスに乗り換車庫前下車、12分。
- ②松江しんじ湖温泉 松江しんじ湖温泉行きバスに乗り換車庫前下車、15分。
- ③松江フォークルパーク バスで松江しんじ湖温泉まで行き、15分。そこからは電車に乗り換車庫前下車、10分。
- ④佐太神社(佐陀神能はユネスコ無形文化遺産) 恵曇、古浦又は片行バスに乗り換佐太神社前下車、26分。
- ⑤マリナーパーク多古鼻 マリナーパーク多古鼻行きバスに乗り換車庫前下車、35分。そこからはコミュニティバスに乗り換車庫前下車、約34分。あとは徒歩で7分。
- ⑥七類港(フェリーで隠岐の島へ) 美保岡ターミナル行きバスに乗り換車庫前下車、約45分。ここで七類港のコミュニティバスに乗り換七類港入り口下車、25分。
- ⑦グリーンスター(牡丹展示施設) 境港行きバスに乗り換八束町の由志園前下車、約25分。あとは徒歩で7分。
- ⑧阿太加夜神社 米子行きバスに乗り換西掛塚下車、23分。あとは徒歩で約10分。
- ⑨出雲国分寺跡 竹矢行きバスに乗り換武内神社前下車、18分。あとは徒歩で8分。
- ⑩八雲立つ風土記の丘 八雲車庫行きバスに乗り換風土記の丘入り口前下車、18分。あとは徒歩で5分。
- ⑪熊野大社 八雲車庫行きバスに乗り換車庫前下車、22分。そこでコミュニティバスに乗り換熊野大社前下車、16分。
- ⑫玉造温泉 玉造温泉行きバスに乗り換車庫前下車、30分。
- ⑬きまち温泉 JR山陰本線下りの列車に乗り換来待下車、25分。駅前で来待温泉行きコミュニティバスに乗り換健康センター前下車、15分。

編集・発行  
朝日地区まち歩き実行委員会

連絡先  
松江市朝日公民館  
〒690-0001 松江市中朝日19番地  
TEL:0852-21-3432 FAX:0852-21-3717  
E-mail: asahi-ph@mblo.jp

平成25年2月発行(復写禁止)

## 駅周辺と東コース

距離 約2.8km 時間 約1時間20分

- J R 松江駅北口 300m 5分
- ① 松江中央郵便局 560m 8分
- ② 宍道湖観光遊覧船のりば 200m 4分
- ③ 松江政府倉庫 200m 5分
- ④ 朝日公民館 400m 7分
- ⑤ 中国電力ふれあいホール 300m 5分
- ⑥ NTT西日本とNTTドコモ 130m 3分
- ⑦ 天皇陛下行幸記念碑 250m 5分
- ⑧ 延命地藏尊 400m 7分
- J R 松江駅北口
- ① 松江中央郵便局 JR松江駅北口から松江東急インを左に歩いて東に向かい、くじり交差点を過ぎるとすぐに見えます。松江郵便局が開設されたのは明治5年のことです。昭和6年に移転し、県内の郵便集配中心として大きな機能を担っています。
- ② 宍道湖観光遊覧船のりば 大橋川沿いに東に歩いて行くとき沢山のボートが見えます。ここから宍道湖観光遊覧船「はくちゅう号」に乗れます。この場所は昭和6年の開港です。貨物輸送の拠点として貨物の出入りが盛んで、国鉄松江駅からの臨港線も敷設されています。
- ③ 中国四国農政局鳥取農政事務所 松江政府倉庫 今度は大橋川を背にして南に向かって歩いてみましょう。昭和10年に木造倉庫として松江市の貨物を提供して建設されました。それを政府が借上り、建設費借還後は国に寄付されたもので、平成10年からは臨港倉庫に生まれ変わりました。
- ④ 松江市朝日公民館 松江政府倉庫を過ぎて南に歩くと朝日公民館があります。昭和35年に朝日小学校内に併設されましたが、平成2年に松江市立第三中学校の複合施設として新たに建設された地域のまちづくり、社会教育の拠点となっています。
- ⑤ 中国電力ふれあいホール 今度西に向かって歩いてみましょう。ふれあいホールが見えます。昭和63年母衣町が移転しました。第一高(開高高校の前身)があったことです。電気展示の展示コーナーがあり、ギャラリーでは、市民の絵画などの作品展示会などが行われています。
- ⑥ NTT西日本とNTTドコモ ここからはNTTの電波塔に向かって歩いてみましょう。松江で电信业务が始まったのは明治12年で、電話業務は明治40年頃から始まりました。現在はNTT西日本島根事業部となっています。NTTドコモ本社が完成したのは平成12年のことです。
- ⑦ 天皇陛下行幸記念碑 NTT西日本の向かい側には大型ショッピングセンターイオンがあります。この地区には昭和4年製、片倉製菓工場がありました。昭和50年に生産を中止しました。現在のイオン松江店の正倉庫は開業当時の間に、昭和天皇行幸記念碑があります。
- ⑧ 延命地藏尊 JR松江駅に向かって西の角に歩いてみましょう。山陰道の高下には延命地藏尊が祀られています。昭和15年頃、近くの市民が大橋川でお地蔵さまのお願(かしら)を見つけ、胴体を作ってお堂を建てたのです。お拝するお堂が繁華をうかがいます。

## 大橋川・伊勢宮コース

距離 約1.6km 時間 約1時間

- J R 松江駅北口 110m 2分
- ① 松江テルサ 420m 8分
- ② 大橋川遊歩道広場 370m 9分
- ③ 賣布神社 10m 1分
- ④ 新大橋通り 150m 3分
- ⑤ 旧米江旅館 100m 2分
- ⑥ 伊勢宮地蔵園地 450m 8分
- J R 松江駅北口
- ① 松江テルサ JR松江駅北口も出る左と右に面がラスター式の大きな建物があります。ここが松江テルサです。正式名称は松江勤労者総合福祉センター。1階にはあるゆかりの町からは定期になれば水鳥と音楽隊が四季をテーマにした曲を奏でて愉快に登場してくれます。
- ② 大橋川遊歩道広場 松江駅を背にして北に歩いてみましょう。大橋川に突き当たったところにある細長い広場です。昭和30年代までは、このあたりには多くの遊船や舟着工所が立ち並び、船着きの汽船乗り場があったところです。現在では、はくちゅう号第2乗船場があります。
- ③ 賣布神社(めふしんじや) 大橋川沿いに西に歩いて行くとき新大橋南詰になります。ここにある神社は賣布神社です。「出雲国土志」に「賣布社」(めふしんじ)と記され古社であり、「めふ」とは、海苔や草木の豊かに生えることを意味しています。
- ④ 新大橋通り 新大橋を背にして南の方向に歩いてみましょう。この通りは大橋川と天神川を結ぶ「和道川」があったところです。昭和8年に築立られてできた道路は新大橋通りと呼ばれ、伊勢宮明は築港通で発展し、昭和初期の風情を残して脈々と続いています。
- ⑤ 旧米江旅館 新大橋通りから一歩入って行きます。鉄道の沿いにこの建物は、全国各地から集った材木を、昭和2年に完成したと伝えられています。戦前の繁華の面影を伝える貴重な歴史建造物であり平成14年登録有形文化財に指定されています。
- ⑥ 伊勢宮児童遊園地 少し分りたりにていますが、繁華街の中心にあります。建物の各面に、昭和を感じさせる遊園地がひっそりと残っています。昭和30年代頃までは、紙芝居屋や子ども遊び場として、子供たちの歓声も響いていました。今は市内有志が花づくりを楽しんでいます。

## 天神川・松原コース

距離 約2.7km 時間 約1時間10分

- J R 松江駅南口 300m 4分
- ① 私塾普通学舎跡 130m 2分
- ② 天神川 300m 4分
- ③ 松江市立第三中学校跡 450m 8分
- ④ 松江地方気象台 520m 10分
- ⑤ 松江市総合文化センター 200m 3分
- ⑥ 津田の松原跡 550m 10分
- ⑦ 工業学校跡 230m 4分
- J R 松江駅南口
- ① 私塾普通学舎跡 JR松江駅南口から歩いて天神川を渡ると、そこに石碑があります。この建物は一階だけあり、明治17年2月に開設された私塾があったところです。この学舎、明治21年(1910)に閉校するまで、県内から160名余の塾生が学びました。
- ② 天神川 近くの橋南歩道を渡り、今来た新作橋を渡って右手天神川沿いに歩いてみましょう。元と旧館の複合施設で、愛称はプラザホール(千鳥の島)。特徴はバブルカラーで、中・西国地方の公共ホールではここだけにしかないそうです。
- ③ 松江市立第三中学校跡 中央小学校の校庭を過ぎると「ここに三中ありき」という石碑が立っています。昭和23年8月から平成7年3月までの半世紀にわたってこの地に第三中学校があり、14,000名余が学びました。平成7年に元朝日小学校があった場所に移動しました。
- ④ 松江地方気象台 今度は天神川を渡り南に向かって歩いてみましょう。国道9号線沿い津田の松原跡に気象台があります。昭和13年10月に松江測候所として開設され、天気予報などの発表や各種の観測を行っています。毎日9時~21時の観測、気球で高層気象観測も行なっています。
- ⑤ 津田の松原跡 プラザホールを過ぎた後、川に向かって北に歩いてみましょう。東西への通りは、古くから津田の松原と稱されていたところ。昭和12年に国の史跡を指定された松原跡の指定を受けました。当時は438本もあった松も平成6年に残り1本が切り倒され、400年の歴史を閉じました。
- ⑥ 工業学校修造園跡 天神川を渡り、西に向かって進むと中央小学校に来ます。ここにその石碑が立っています。現在古瓦製による県立松江工業高等学校は、明治40年に工業学校修造園として設立され、大正8年から昭和23年6月まで中央小学校の場所にありました。

松江市内でも最も交通量の多いところ松江の今の姿を十分に感じていただきましたか。

伊勢宮を過ぎてJR松江駅に帰ってきました。夜の街は一転します。ぜひ夜も満喫してください。

さあまたJR松江駅に帰って来ました。松江の歴史の一部が発見できてきたでしょうか。

